



芥川 也寸志 生誕100年記念 企画展・特別コンサート

作曲家の芥川也寸志は、今年、生誕100年を迎えました。

幼い頃から二人の兄と共に音楽に親しみ、作曲家を志した也寸志は、昭和18年(1943)に東京音楽学校へ入学しました。当時の日本は戦争のさなかにあり、思うように学ぶことができない日々が続きましたが、戦後再び東京音楽学校で学び、作曲家として活動を開始します。クラシック音楽だけでなくドラマや映画音楽も手掛け、作曲家として第一線で活躍する也寸志は、やがて作曲活動以外にも多様な形で音楽とかわり、その中で「音楽はみんなのもの」とであると考えられるようになります。

今回の企画展では、生涯を辿りながら、「音楽はみんなのもの」という理念のもと、音楽を作り、守り、広めた、芥川也寸志の幅広い活動をご紹介します。

また、会期中には芥川也寸志が作曲した楽曲をお楽しみいただける特別コンサートも開催いたします。

芥川也寸志 大正14年(1925)～平成元年(1989)

大正14年(1925)7月12日生まれ。父は小説家の芥川龍之介。昭和24年(1949)東京音楽学校研究科修了。管弦楽・器楽曲を中心に作曲活動を行い、ドラマや映画音楽も数多く手掛けた。昭和28年(1953)には團伊玖磨、黛敏郎とともに「3人の会」を結成し、〈交響曲〉、〈エローラ交響曲〉などの新作を発表した。

代表作に〈交響管弦楽のための音楽〉、〈弦楽のための三楽章〉、オペラ《ヒロシマのオルフェ》などがある。

作曲家としての活動以外にも、文筆活動やNHK「音楽の広場」などのテレビ・ラジオ番組への出演、アマチュアオーケストラ「新交響楽団」音楽監督、日本音楽著作権協会の理事長を務めるなど幅広く活躍したほか、奏楽堂の保存運動においては卒業生有志と共に「奏楽堂を救う会」を結成し、中心的な役割を担った。

出演者プロフィール



尾池 亜美 (おいけ あみ) / ヴァイオリン

東京藝術大学卒業。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。日本音楽コンクール第一位、RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、カール・フレッシュ国際コンクール第2位他、受賞歴多数。アジア、ヨーロッパでオーケストラやアンサンブルと共演し、リサイタルを開催。アミティ・カルテット、ゼフィルス・ピアノ五重奏団、Ensemble FOVE、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学准教授、2021年 Bartók World Competition の弦楽四重奏部門審査員。www.amioike.art



山口 絢 (やまぐち あや) / ヴァイオリン

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭、「題名のない音楽会」、サントリーホール ARK CLASSICS、他出演。これまでに、澤和樹、山崎貴子、尾池亜美、ジェラルド・ブーレン 各氏に師事。紀尾井ホール室内管弦楽団2024度シーズン・メンバー。



阿部 哲 (あべ さとる) / ヴィオラ

東京都出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業、同大学院修了。在京オーケストラを中心に客演奏者として活動しながら、室内楽演奏も積極的に行っている。その他、アマチュアオーケストラ指導や後進の育成にも力を入れている。藝大フィルハーモニア管弦楽団ヴィオラ奏者。



加藤 文枝 (かとう ふみえ) / チェロ

東京藝術大学、同大学院卒業。学内にて安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。パリ市立音楽院を満場一致の首席で卒業。第8回ビバホルチェロコンクール第1位。第7・8回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。FLAME国際コンクール第3位。平成23年度京都市芸術文化特別奨励者。2011・2012年度ロムミュージックファンデーション奨励学生。一般財団法人地域創造による公共ホール音楽活性化事業、平成28・29年度登録アーティスト。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。オクタヴィア・レコードよりデビュー・アルバム「Parfum」をリリース。



小野 綾香 (おの あやか) / メゾソプラノ

愛知県出身。東京藝術大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程、博士後期課程を修了。在学時、三菱地所賞、長野幸奈子賞、毛利華賞、武蔵舞基金、宗次エンジェル基金奨励学生。第29回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。第87回日本音楽コンクール(歌曲部門)第3位、併せて木下賞を受賞。これまでに歌曲作品の他、宗教曲、オペラ、新作初演等に携わるなど、意欲的に活動の幅を広げている。現在、東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。日本演奏連盟、東京二期会会員。



松平 敬 (まつだいら たかし) / バリトン

東京藝術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、西村朗など約200作以上の新作を初演。シュトックハウゼン、クセナキスなどの演奏に難い作品もレパートリーに持つ。サントリーホール・サマフェスティバル、新国立劇場などに出演。ソロCDとして4枚のアルバムを、チューパの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義としても2枚のCDを発表。2019年には著書「シュトックハウゼンのすべて」を出版。平成22年度文化庁芸術祭優秀賞、第32回、第34回ミュージック・ベンクラブ音楽賞を受賞。



鴫田 恵利花 (ときた えりか) / ピアノ

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。同大学院修士課程ピアノ専攻修了。学部卒業時に同声楽賞を受賞。2011年～2013年度東京藝術大学大学院ティーチングアシスタント。ペスカール音楽院高等課程(イタリア)を修了。2011年第39回和歌山県新人演奏会にて特別奨励賞受賞。2015年よりピティナ公開録音コンサートに出演、ピティナピアノチャンネル(YouTube)に多数の音源を提供している。erika-tokita.com



篠田 昌伸 (しのだ まさのぶ) / ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。第14回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第2位。第74回日本音楽コンクール作曲部門第1位、等受賞。複数の作曲家グループやプロジェクトに参加し作品を発表する他、著名な演奏家、団体等の委嘱などによっても作品が発表されており、ピアノ曲「炭酸」は全音楽譜出版社より出版、合唱曲のボートレーCD「街の衣のいちまい下の虹は鮫だ」がリリースされている。ピアニストとして演奏活動も多く、新作初演やアンサンブルの他、リサイタルシリーズ「Contemporary Piano Showcase」にて、新しい海外のピアノ曲を積極的に紹介、また邦人作曲家に新作を委嘱する活動をしている。



松本 英作 (まつき えいさく) / トーク

昭和22年生まれ。歯科医師。5歳よりヴァイオリンを始める。昭和46年芥川氏が音楽監督をされていた新交響楽団にVn奏者として入団、昭和50年より理事長を12年間務めた。芥川氏と日本人作曲家の作品を継続的に取り上げ、芥川氏と新交響楽団は第8回サントリー音楽賞を受賞した。その後日本人の交響作品を継続的に取り上げるため、オーケストラ・ニッポニカを創立し多く邦人作品を紹介し海外との文化交流にも尽くした。現在、奏楽堂企画委員会委員、台東区アマチュアオーケストラ協会会長、また地元小島二丁目西町会長、浅草寿地区町連副会長、島越神社総代。



徳永 洋明 (とくなが ひろあき) / トーク

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。第7回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第2位、「2agosto」国際作曲コンクール第3位など国内外コンクールでの受賞多数。文化庁芸術家大賞受賞(ラジオドラマ「2233歳」の音楽)。作編曲活動と並行してアンサンブルピアニストとして多くのミュージシャンをサポートする一方、指揮者として東京フィルハーモニー交響楽団等と共演するなど、様々なジャンルの音楽家より篤い信頼を得ている。

Access

台東区旧東京音楽学校奏楽堂
東京都台東区上野公園8-43



※駐車場・駐輪場はございません。

- JR「上野駅」公園口：徒歩約10分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」：徒歩約15分
- 京成線「上野駅」：徒歩約15分
- 台東区循環バス(東西めぐりん)「旧東京音楽学校奏楽堂」：徒歩約1分